

大学等名：杏林大学
テーマ：テーマⅢ（高大接続）

【杏林大学グローバル人材育成 × 高大接続 = 留学早期化・留学期長期化・留学複数化 ⇒ グローバル人材育成の加速】

本事業は「**日英中トライリンガル育成のための高大接続**」を目指すものである。現在、外国語学部が中心となって全学的に展開しているグローバル人材育成の取り組みを高等学校へ積極的に開放することで、本学のグローバル教育の基本認識を高校生にも普及し、留学の早期化・長期化・複数化への意識を積極的に醸成しながら、グローバル人材になる志を持った若者の成長を促進していく。



- 基本認識
- ① 英語プラス1としての中国語の汎用性
 - ② 中国の文化・政治・経済等を理解する必要性、卓抜した中国語力を備えておく必要性
 - ③ 杏林大学が目指す社会機能：異なる言語・世代・立場を超えて建設的にコミュニケーションできる人材の育成



特色

グローバル人材育成という教育目標を掲げた高大接続
・グローバル人材育成に積極的に取り組む高校との高大接続

日英中トライリンガルの必要性を高校生・日本社会に広く普及し、高大一体となって効率的に日英中トライリンガル人材を育成
・杏林大学の中国語の教育資源を活用：中国語の必要性を広く高校生に普及するため**ピアサポーター**による教育機会を提供

・高大を一貫させた7年間で、英語・中国語の2言語に関する「卓抜した語学力」の修得を図り、日英中トライリンガルを育成



手段・方法

杏林APラウンドテーブル
連携高校関係者とグローバル人材育成について意見交換

Advanced Placementの実施
高校生時に大学で受講した講義で入学後の単位を認定

グローバルポートフォリオ／ルーブリックによる高大接続
効率的・効果的な教育の接続を検討し、ポートフォリオ／ルーブリック等の教育成果測定法を導入

【事業の成果】

	26年度	28年度 (目標)	30年度 (目標)
杏林APラウンド 実施回数	2回実施	6回実施	6回実施
Writing Center+IELTS 高校生利用者数	3人利用	10人利用	30人利用
グローバル関連科目 高校生履修者数	0人履修	210人履修	300人履修



期待される改革加速

- ① **入試改革の加速**
グローバル人材資質に関する成果を、高大接続したシラバス、テストによる成績判定、ポートフォリオ／ルーブリックによる評価
- ② **高大接続による留学の質向上の加速**
留学時期の早期化、留学期間の長期化、留学先の複数化による質向上の加速
- ③ **グローバル人材育成の加速**
目標を共有する高等学校と杏林大学が、教育成果測定法を活用した連携・接続で、グローバル人材育成を加速